指扇小だより

教育目標　やり抜く子の育成

かしこく　やさしく　たくましく　あたたかく

開校149周年

5月号　令和4年4月28日　第2号

さいたま市立指扇小学校

〒331-0078

さいたま市西区西大宮1丁目49－6

電話 048-623-0133　FAX048-624-2200

【児童数】男子433名女子442名 計875名

笑顔あふれる学校づくり　～認め、褒め、伸ばす教育～

校長　引間　陽子

薄紫のフジ、薄紅色のハナミズキ、薄黄色のモッコウバラ、赤やピンクのサツキ、若草色の若葉等、彩り鮮やかな春色に染まる景色が目に飛び込んできます。新学期が開始されて約1ヶ月が経ち、指扇小学校の学び舎は活気に満ちた学習や活動が進められています。新しい学年での活動も軌道に乗ってきました。各教室を訪問し、どんな学級の雰囲気かな、どんな子どもたちがいるかな、先生はどんな声掛けをしているか、と興味津々お邪魔すると、どの学級も教師とともに新しい学年を一生懸命頑張るぞという張り切った子どもたちの輝く表情が見られ、いいスタートを切っております。

令和4年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止の徹底を図り、新しい生活様式をしっかり取り入れた生活をしています。併せて、段々気温が上昇し、暑い季節を迎えようとしている中、熱中症対策も取りながらの学校生活です。一人ひとりが気を付けることにより、学校全体の感染や熱中症予防となり、みんなの安全で安心できる生活に繋がっています。御家庭の御協力にも感謝いたします。

さて、本校の教育目標「やり抜く子の育成」の実現のため、重点取組とした「学校は、友だちと一緒に学ぶところ」を先月号で御紹介したところです。学校の「授業で『学ばせる』とはどんなことか」と改めて考えると、私は「授業は生き物のようだ」と感じます。教師は、指導計画を立て、どうやったら子どもたちにわかる授業、楽しい授業を提供できるか、試行錯誤を繰り返し日々教材研究を進めながら、授業に向かいます。思っていたものとは違う反応も少なくないのも、面白いもの。それでも、子どもたちの表情を感じ取り、その場で機転を働かせ、子どもたちを乗せていく・・そんな時、教師としての醍醐味を感じます。一番嬉しいのは子どもたちが「今日の授業、楽しかった」と笑顔で応えてくれることに、教師の指導の在り方の答えが見えてきます。まさに、授業は生き物。教師も子どもたちと一緒にライブ感を味わうのです。そんな素敵な経験を教師も味わい、子どもたちが満足を味わえるような「学び」を構築したいと考えます。さらに、その蓄積により、子どもたちが自尊心を高め、自信をつけていけるよう、子どもたちの学ぶ姿を瞬時に捉え、認め、褒め、伸ばす教育を推し進めます。

最後に、明日より、ゴールデンウイークが始まります。今一度、交通安全をはじめ、子どもたちが安心で安全に過ごす連休になるように、御家庭でも留意いただきたいと思います。

また、5月末には、運動会も予定されております。感染症拡大防止対策の徹底の下、学年の発表形式での参観にはなりますが、子どもたちの活躍をお見せできるよう教職員が一丸となって準備を進めます。保護者の皆様、地域の皆様、引き続き御支援、御協力をよろしくお願いいたします。